

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年2月10日

上場会社名 株式会社 セック  
 コード番号 3741 URL <http://www.sec.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 秋山 逸志  
 (氏名) 中川 美和子

TEL 03-5491-4770

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	1,951	△5.8	22	△55.3	80	△21.9	4	△92.4
22年3月期第3四半期	2,071	11.9	49	38.8	102	17.2	57	25.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	1.70	—
22年3月期第3四半期	22.38	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	3,905	3,441	88.1	1,344.46
22年3月期	4,113	3,517	85.5	1,373.98

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 3,441百万円 22年3月期 3,517百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
23年3月期	—	0.00	—		
23年3月期 (予想)				30.00	30.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,960	4.8	150	24.8	220	9.3	90	△22.2	35.16

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、[添付資料]4ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期3Q	2,560,000株	22年3月期	2,560,000株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	255株	22年3月期	176株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期3Q	2,559,811株	22年3月期3Q	2,559,824株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定については、[添付資料]3ページ「当四半期の業績等に関する定性的情報」(3)業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(第3四半期累計期間)	6
(第3四半期会計期間)	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における我が国情報サービス業の業況は、経済産業省「特定サービス産業動態統計」によると、平成22年4月以降の月別売上高は8月を除き11月まで前年同期比減少となっており、IT需要は依然として低迷していると推察されます。加えて当社事業分野では、競争入札やコンペが増加し受注の見通しが立てにくくなるなど、事業環境は引き続き厳しい状況が続きました。

こうした中、当社は重点テーマであります営業力強化による潤沢な商談の確保に努めるとともに経費削減に取り組んで参りましたが、社会基盤システムBFの大型技術アプリケーションの落ち込みなどにより、前年同期比で減収減益となりました。一方で、地上デジタル放送組込みソフトウェア（製品名：airCube）のAndroid対応、環境エネルギー分野の研究開発などの注力分野に積極的に投資いたしました。

ビジネスフィールド（以下、ビジネスフィールドを「BF」と省略）別には、モバイルネットワークBFは、通信事業者向けのAndroidなどのオープンプラットフォームに関するコアテクノロジーサービスとネットワーク管理の技術アプリケーションが堅調で、売上高は234百万円（前年同期比35.0%増）となりました。ワイヤレスBFは、Androidを搭載したスマートフォンのエンベデッドソフトウェアが堅調でしたが、開発計画の変更や開始の遅れなどにより、売上高は825百万円（前年同期比3.5%減）となりました。インターネットBFは、不況の影響で開発計画の縮小や延期などがありましたが、入札による新規案件の獲得により、売上高は380百万円（前年同期比7.8%増）となりました。社会基盤システムBFは、防衛分野などの大型技術アプリケーションの開発が減少したため、売上高は215百万円（前年同期比50.0%減）となりました。宇宙先端システムBFは、研究機関向け技術アプリケーションが増加したものの、宇宙分野での開発計画に一部縮小があり、売上高は214百万円（前年同期比0.7%減）となりました。

この結果、全社売上高に占める割合は、モバイルネットワークBF、インターネットBF、ワイヤレスBF、宇宙先端システムBFが増加し、社会基盤システムBFが減少しております。

ソリューションビジネスは、airCubeの受注が好調で、売上高は80百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高1,951百万円（前年同期比5.8%減）、営業利益22百万円（前年同期比55.3%減）、経常利益80百万円（前年同期比21.9%減）、当期純利益4百万円（前年同期比92.4%減）となりました。

### ビジネスフィールド（BF）別売上高

ビジネスフィールド	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
モバイルネットワーク	174,040	8.4	234,875	12.0
ワイヤレス	855,168	41.3	825,618	42.3
インターネット	352,884	17.0	380,361	19.5
社会基盤システム	430,664	20.8	215,475	11.1
宇宙先端システム	216,411	10.5	214,910	11.0
ソリューション	41,879	2.0	80,111	4.1
計	2,071,049	100.0	1,951,353	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の総資産は、前事業年度末に比べ208百万円減少し、3,905百万円となりました。これは主に、差入保証金の減少123百万円、受取手形及び売掛金の減少111百万円によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ132百万円減少し、463百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加88百万円、賞与引当金の減少96百万円、役員退職慰労引当金の減少83百万円、支払手形及び買掛金の減少62百万円によるものであります。

純資産は、四半期純利益による増加、配当金支払いによる減少などの結果、前事業年度末に比べ75百万円減少し、3,441百万円となりました。自己資本比率は前事業年度末の85.5%から88.1%となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比べ57百万円減少して、四半期末残高は1,794百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期累計期間において営業活動の結果支出した資金は34百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益12百万円、売上債権の減少112百万円及び減価償却費58百万円による増加、賞与引当金の減少96百万円、役員退職慰労引当金の減少83百万円及び仕入債務の減少62百万円による減少の結果であります。前年同期は286百万円の収入でした。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期累計期間において投資活動の結果支出した資金は30百万円となりました。これは主に、差入保証金の回収による収入171百万円、無形固定資産の取得による支出75百万円、有形固定資産の取得による支出62百万円、差入保証金の差入による支出47百万円によるものであります。前年同期と比較して4百万円の支出減となりました。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期累計期間において財務活動の結果得られた資金は11百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増額88百万円、配当金支払いによる支出76百万円によるものであります。前年同期と比較して35百万円の収入減となりました。

## (3) 業績予想に関する定性的情報

第4四半期会計期間におきましては、第3四半期累計期間と同様に厳しい事業環境が続くと見込まれますが、引き続き商談獲得に注力してまいります。従いまして、平成22年11月10日の平成23年3月期第2四半期決算短信（非連結）にて公表いたしました業績予想を変更しておりません。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ・資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益は407千円減少、税引前四半期純利益は11,579千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は11,171千円であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,794,700	1,852,365
受取手形及び売掛金	757,637	869,338
その他	201,505	130,087
流動資産合計	2,753,842	2,851,791
固定資産		
有形固定資産	75,752	32,073
無形固定資産	89,941	56,024
投資その他の資産		
長期預金	500,000	500,000
前払年金費用	4,523	945
その他	481,029	672,655
投資その他の資産合計	985,552	1,173,601
固定資産合計	1,151,245	1,261,698
資産合計	3,905,088	4,113,490
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,268	87,297
短期借入金	124,000	36,000
未払法人税等	4,505	25,913
賞与引当金	92,000	188,000
その他	171,785	139,063
流動負債合計	417,560	476,274
固定負債		
役員退職慰労引当金	36,084	120,066
資産除去債務	9,960	—
固定負債合計	46,044	120,066
負債合計	463,604	596,340
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	477,300	477,300
資本剰余金	587,341	587,341
利益剰余金	2,379,726	2,452,170
自己株式	△293	△218
株主資本合計	3,444,074	3,516,593
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2,590	556
評価・換算差額等合計	△2,590	556
純資産合計	3,441,483	3,517,150
負債純資産合計	3,905,088	4,113,490

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	2,071,049	1,951,353
売上原価	1,587,049	1,490,271
売上総利益	483,999	461,082
販売費及び一般管理費	434,521	438,953
営業利益	49,477	22,128
営業外収益		
受取利息	6,697	8,004
受取配当金	329	666
補助金収入	41,607	41,668
その他	8,741	13,135
営業外収益合計	57,375	63,476
営業外費用		
支払利息	622	571
為替差損	2,202	3,638
不動産賃貸費用	1,135	1,008
営業外費用合計	3,960	5,218
経常利益	102,893	80,386
特別損失		
固定資産除却損	940	12,326
本社移転費用	—	44,280
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	11,171
特別損失合計	940	67,778
税引前四半期純利益	101,953	12,607
法人税、住民税及び事業税	2,835	2,835
法人税等調整額	41,819	5,422
法人税等合計	44,654	8,257
四半期純利益	57,298	4,350



(第3四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	740,905	680,132
売上原価	591,410	510,088
売上総利益	149,494	170,043
販売費及び一般管理費	131,972	122,668
営業利益	17,522	47,375
営業外収益		
受取利息	2,221	2,291
受取配当金	173	346
補助金収入	13,715	16,929
その他	3,459	4,567
営業外収益合計	19,570	24,134
営業外費用		
支払利息	196	152
為替差損	—	727
不動産賃貸費用	272	264
営業外費用合計	468	1,144
経常利益	36,624	70,365
特別損失		
固定資産除却損	940	—
特別損失合計	940	—
税引前四半期純利益	35,683	70,365
法人税、住民税及び事業税	△16,177	945
法人税等調整額	32,484	28,758
法人税等合計	16,306	29,703
四半期純利益	19,376	40,662

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	101,953	12,607
減価償却費	55,241	58,661
固定資産除却損	940	12,326
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△95,000	△96,000
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,003	△83,982
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2,433	—
受取利息及び受取配当金	△7,026	△8,671
支払利息	622	571
売上債権の増減額 (△は増加)	362,920	112,661
仕入債務の増減額 (△は減少)	23,788	△62,028
未払金の増減額 (△は減少)	△3,756	24,106
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△3,980	△17,488
その他	△2,236	25,717
小計	437,035	△21,517
利息及び配当金の受取額	6,096	9,277
利息の支払額	△702	△645
法人税等の支払額	△155,547	△21,648
営業活動によるキャッシュ・フロー	286,881	△34,534
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	300,000	300,000
定期預金の預入による支出	△200,000	△300,000
有形固定資産の取得による支出	△4,581	△62,759
無形固定資産の取得による支出	△25,654	△75,751
投資有価証券の取得による支出	△104,593	△4,736
資産除去債務の履行による支出	—	△11,171
差入保証金の差入による支出	—	△47,471
差入保証金の回収による収入	—	171,246
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,829	△30,644
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	250,000	300,000
短期借入金の返済による支出	△152,000	△212,000
自己株式の取得による支出	—	△74
配当金の支払額	△51,279	△76,780
財務活動によるキャッシュ・フロー	46,720	11,144
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,202	△3,630
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	296,570	△57,665
現金及び現金同等物の期首残高	1,617,202	1,852,365
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,913,773	1,794,700

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社は単一セグメントであるため、ビジネスフィールド別に記載しております。

①生産実績

当第3四半期累計期間の生産実績をビジネスフィールド別に示すと次のとおりであります。

ビジネスフィールド	金額 (千円)	前年同四半期比 (%)
モバイルネットワーク	171,894	149.7
ワイヤレス	616,761	92.5
インターネット	298,980	121.8
社会基盤システム	168,130	49.8
宇宙先端システム	158,028	103.8
ソリューション	76,474	108.6
合計	1,490,271	93.9

(注) 1. 金額は製造原価によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注状況

当第3四半期累計期間の受注状況をビジネスフィールド別に示すと次のとおりであります。

ビジネスフィールド	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
モバイルネットワーク	205,386	137.7	57,534	111.1
ワイヤレス	852,433	102.7	131,609	85.7
インターネット	459,941	124.5	153,951	170.2
社会基盤システム	297,924	68.5	112,816	99.9
宇宙先端システム	190,338	71.2	62,517	89.1
ソリューション	128,644	158.1	83,209	189.9
合計	2,134,669	100.1	601,639	115.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### ③販売実績

当第3四半期累計期間の販売実績をビジネスフィールド別に示すと次のとおりであります。

ビジネスフィールド	金額（千円）	前年同四半期比（％）
モバイルネットワーク	234,875	135.0
ワイヤレス	825,618	96.5
インターネット	380,361	107.8
社会基盤システム	215,475	50.0
宇宙先端システム	214,910	99.3
ソリューション	80,111	191.3
合計	1,951,353	94.2

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 前第3四半期累計期間及び当第3四半期累計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	
	金額（千円）	割合（％）	金額（千円）	割合（％）
パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社	306,001	14.8	387,638	19.9
ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社	268,731	13.0	251,763	12.9
KDDI株式会社	247,386	11.9	—	—

(注) 当第3四半期累計期間のKDDI株式会社につきましては当該割合が100分の10未満のため記載を省略しております。